

1年次生 K.I.さん

同志社大学政策学部 卒業

質の高い講義や学生への手厚いサポートのおかげで
初学者の私でも必要な知識を身に付けることができました。

私は、法学部出身ではなく、予備校にも通って
いなかったのに、入学当初、法律知識が全くと言って
いいほどありませんでした。そのため、膨大な法律知識
を身につけることができるのか、法律答案を書くこと
ができるのか不安でした。

しかし、今振り返ると、講義で与えられた・教えられた
内容をこなしていくことで、必要な法律知識を身に
つけることができました。また、法律答案の
書き方についても、春学期にある導入演習という

講義で書き方を教わり、再チャレンジ支援プログラム
でOBの弁護士の先生に答案の添削をしていただく
ことで上達したと思います。さらに、コンタクト・
ティーチャーによる個人面談で、先生方に学習に関する
相談をすることもできました。

高等司法研究科は講義の質が高く、学生への
サポートも手厚いので、相当の勉強量はもとめられ
ますが、初学者の方でも安心していただけて良いと
思います。

ある1年次生の1週間(春学期)

	朝 ~8:50	1限 8:50 ~ 10:20	2限 10:30 ~ 12:00	3限 13:30 ~ 15:00	4限 15:10 ~ 16:40	5限 16:50 ~ 18:20	6限 18:30 ~ 20:00	夜 20:00 ~
月	起床~ 予習	授業の予習・復習		民法基礎1①	授業の復習	憲法基礎1	未修の友人と食事をしながら学習方法の意見交換	
火	6:00に起床。 1限に授業 がある日は 予習。大学院 までの移動 時間にスマホ で条文を素 読してできる だけ法律に 慣れる。	授業の予習・復習		民法基礎2①	授業の復習	ローライブラリーで 判例のデータベース を閲覧	オフィスアワー 進路について 先生の意見を聞く	帰りの電車で法 学の基本書を読 んだり短答式の 問題集を解く。帰 後は授業の予 習と復習。23時 頃に就寝。
水		民法基礎1②	法理論	刑法基礎1	再チャレンジ支援 プログラムの準備	再チャレンジ支援プログラム 弁護士アドバイザーとの質疑応答で 基礎力を養う		
木		授業の予習	リサーチ& ライティング1	導入演習		定期面談 学習計画について アドバイスを受ける	授業の復習	
金		授業の予習・復習		自習室で基本書 を読む	民法基礎2②	授業の復習	自主勉強会 同学年の友人や先輩方と親睦を深めつつ 多様な考え方に触れる	

ある1年次生の1年

4月~
未修の不安を
交流会で解消
学生・教員・OB・OGによる交流会。
勉強法の相談や先輩の体験談
などで未修の不安を解消。

5月~
緊張感のある授業で
基礎力を養う
基礎力を養う期間。少人数
クラスなので緊張感があり自
らと熱が入る。勉強に不安を感じ
たら定期面談で先生に相談。

8月~
期末試験の講評を
もとに論述力を磨く
春~夏学期の学習の成果が
わかる期末試験。担当教員に
よる講評会や、問題の趣旨や
採点実感などが書かれた講評
書のおかげで、何をどう書くか
イメージをつかめた。夏休みは
知識の定着だけでなく論述の
方法も意識して勉強してみる。

11月~
自主ゼミで
自分の問題点を把握
秋~冬学期から勉強内容も増え、
大変だけど、慣れてきた実感も。
そこで友人たちと判例を検討する
自主ゼミを開始。自分ひとりでは
気が付かなかった問題点を把握で
きたり、友人の勉強方法を参考に
したり、とてもためになった。11月
の定期面談では秋~冬学期の期末
試験に向けた勉強方法を相談。

2月~
1年次の学びに加え
2年次への準備も
緻密なカリキュラムと先生や弁護
士アドバイザーのサポートのおか
げで、4月から入ってくる既修生に
負けない実力がついたと感じる。
けれどここからは正念場。苦科目
を春休み中に克服するため、授業
の総復習に取り組む。4月以後、
司法試験合格までの勉強計画を
立て、選択科目の選択や2年次の
履修計画を立てる。

コンタクト・ティーチャー
との定期面談で勉強への
不安が取り除けました。

エクスターンシップに
参加することで、
将来のビジョンが
はっきりしました。

4月~
授業を通じて
課題を発見する
授業が始まり、基礎力の不足している
分野があることに気がつく。これか
らの課題が見つかった。

5月~
疑問を感じたら
オフィスアワーを活用
既修者にとって1年目は応用力を
養う期間。独習で解決できない
疑問点は、オフィスアワーを積極
的に活用し先生に質問。

8月~
司法試験へ向け
実践的な力を付ける
春~夏学期の復習と秋~冬
学期の予習に加え、司法試験
へ向けた勉強も。参考書で
短答や論文の過去問を解くほ
か、司法試験本番を意識して
判例の検討をする。

11月~
定期面談で勉強の
方針が明確に
1日3~4時間の自習に加え、
自主ゼミに積極的に参加。仲間
と切磋琢磨することで授業の
補完や試験対策も捗る。11月の
定期面談ではコンタクト・ティー
チャーと今後の学習プランに
ついて話し合い、やるべきことが
明確になった。

2月~
キャリア形成のため
エクスターンシップに参加
キャリア形成のため、授業
の一環として法律事務所・
企業法務部門・地方公共
団体などにおいて法律実務を
体験し学ぶことができる
エクスターンシップに参加。
憧れの弁護士事務所での
研修を通じて、実務の実際や
法曹の心構えを教えていた
だいた。

3年次生 S.M.さん

大阪大学法学部 卒業

集中も息抜きも大切。本学にはメリハリをつけながら
司法試験に向けて勉強できる環境が整っています。

3年次には、それまでに培った法的知識を活用して
問題を解く形式の授業が多くなります。先生方は、
答案の書き方や論点のとらえ方等を教えて下さり、
司法試験をより意識した授業をさせていただきます。

また、24時間使える自習室には学生全員にそれぞれ
専用の机があり、勉強に集中することができる環境
も整っています。休憩するとき、学生同士で話し合
いをするときは、談話室や空き教室を使うこともでき
ます。私は、勉強の際は主に自習室を使い、息抜き

をしたときは談話室で友達と雑談をして過
ぎていました。

阪大ロースクールは、メリハリをつけながら司法
試験に向けた勉強に集中できる環境が整っています。

心強い先生方や
仲間たちと
司法試験本番を意識しながら
勉強しています。

共に学ぶ仲間がいる。支えてくれる人たちがいる。

一人ではないからこそ、厳しい学びの日々を、乗り越えることができます。

2年次生 F.R.さん

新潟大学法学部 飛び入学

自分のペースや目的に合わせて学習できる自由さと
先生方がいつでも相談に応じてくれる安心感が魅力です。

大阪大学大学院高等司法研究科は、自由である
という点に特徴があると考えています。

まず、必須の提出課題が多くないことからわかる
ように、自分のペースで学習を進めることができます。
講義の予習復習があるので、大半の人はそれに合わせて
学習することにはなりますが、その方法や時期で制限
を受けることはありません。しかし、放置されているわけ
でもありません。年2回の先生との面談に限らず、様々な
先生方が学習や進路の相談に乗ってくださいます。

また、自習室が24時間使えることや、そのすぐそばに
ローライブラリーがあることからわかるように、自習室
での自主的な学習がスムーズにいくように配慮されて
います。自主ゼミを組み、講義期間中も司法試験に
向けた学習を並行して進められていたことも自由の
証左といえるでしょう。

法科大学院は学校によって雰囲気や学習方法が
大きく変わります。ぜひともご自身にあった選択を
なさってください。

ある2年次生の1週間

	朝 ~8:50	1限 8:50 ~ 10:20	2限 10:30 ~ 12:00	3限 13:30 ~ 15:00	4限 15:10 ~ 16:40	5限 16:50 ~ 18:20	6限 18:30 ~ 20:00	夜 20:00 ~
月	起床~ 予習	授業の予習・ 復習	憲法応用	裁判実務基礎 (民事)	再チャレンジ支援 プログラムの準備	再チャレンジ支援プログラム 弁護士アドバイザーとの質疑応答で 応用力を深める		
火	6:30に起床。 準備の後、 授業の予習 をしてから 大学院へ。	授業の予習・復習		倒産法基礎	民法応用1	特許法	授業の予習・ 復習	主に24時間開放 の自習室で、授業 の予復習や司法 試験対策の勉強。 土日も登校して自 習室で勉強する。 実務家の講演会 や懇親会に参加す ることも。就寝は 平均24時頃。
水		授業の予習・復習		オフィスアワー 自主ゼミの疑問点を 先生に質問	会社法応用1	民事訴訟法応用1	授業の予習・ 復習	
木		授業の予習・ 復習	行政救済法	リサーチ& ライティング2	院生談話室のパソコン で資料を出力	自主ゼミ 主に期末試験対策。憲法の事例問題について、 学生同士で論点を議論する。		
金		授業の予習・ 復習	刑事訴訟法応用	司法試験の過去問を 検討する	刑法応用1	短答式の問題集を 使って勉強	自主勉強会 同学年の友人や先輩方と親睦を深めつつ 多様な考え方に触れる	

ある2年次生の1年

ローライブラリー



法律関係の図書を所蔵しています。学習に必
要な判例などを検索できるDVDやインター
ネットリソースも利用可能。

模擬法廷



法廷実務およびプレゼンテーション能力をはじめ
とする法廷技術の実践的な学修を行う施設
です。

専用自習室



24時間利用可能。学生一人ひとりに固定の席
が割り当てられており、いつでも好きな時に
自習や予習復習ができます。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、オンラインでの実施を含め、一部変更が生じています。